

# 化学物質安全データシート

## Material Safety Data Sheet

### (SDS)

---

日付/改訂 : 2020.7.6

製品 : &wpaia (アンドオレア)

印刷日 2020.7.6

---

株式会社オレア

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 3-28-2

紺清ビル 201 号室

TEL : 03-3360-2334 FAX : 03-3360-2335





## 製品安全データシート (SDS)

### 1. 名称及び会社情報

名称 &wpaia  
アンドオレア

製造者名 株式会社オレア  
所在地 東京都新宿区高田馬場 3-28-2 紺清ビル 201 号室  
電話番号 03-3360-2334  
FAX 番号 03-3360-2335

### 2. 組成・成分情報

対象濃度 200ppm/pH6.7～pH7.0  
成分名 次亜塩素酸 「HClO」  
色調 無色透明  
国連分類 国連勧告の定義上危険物に該当しない。  
HS コード 282890

#### 次亜塩素酸ナトリウム

濃度	12%
化学記号	NaClO
有効塩素濃度	13.10%
遊離アルカリ(NaOH)	0.36%
塩化ナトリウム	2.0 以下
比重	1.13%
臭素酸	26ppm
塩素酸	3500ppm
CAS No	7681-52-9
国連分類及び国連番号	8 /1791
パッキンググループ	III

#### 希塩酸

濃度	8.5%
化学記号	HCl
割合	鉄分・・・0.001%以下 強熱残分・・・0.001%以下
比重(20/4℃)	1.039 固有振動周期測定法(JIS 規格)
CAS No	7647-01-0

国連分類及び国連番号	8 /1789
パッキンググループ	II

水

化学記号	H <sub>2</sub> O
割合	含有量・・・99.468%

### 3. 危険、有害性情報

検体濃度/pH 200ppm/pH6.7～7.0

試験項目	試験動物	試験番号	取得年月日	結果
急性口徑毒性試験	マウス	第 508070583 - 001 号	2009年8月24日	異常は認められない
眼刺激性試験	マウス	第 508070583 - 002 号	2009年8月24日	刺激性なし
皮膚一次刺激性試験	マウス	第 508070583 - 003 号	2009年8月24日	刺激性なし

### 4. 危険性有害性要約

危険性・・・火災の危険性は極めて低い。

有害性・・・有害性は極めて低い。(塩素アレルギーを持つ方は使用しないで下さい)

分類の名称・・・分類基準に該当しない。(分類基準は日本方式)

### 5. 応急処置

吸引、皮膚に付着した場合・・・特になし

症状に関する簡潔な情報・・・特になし

応急処置をする者の保護・・・特になし

医師に対する特別注意事項・・・特になし

### 6. 火災時の措置

消火剤・・・・・・・・・・・・この製品自体は不燃焼である。

火災時の特定危険有害性・・・特になし

### 7. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・・・特になし

環境に対する注意事項・・・特になし

除去方法・・・・・・・・・・・・水で洗い流す

### 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・・・・・・・・・・・・次亜塩素酸ナトリウム・希塩酸＝設定されていない

9. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い注意事項・・・・・・・・飲料水ではないので飲まないこと。  
安全取り扱い注意事項・・・・・・・・用途目的以外に使用しない、開封後6カ月で使いきる。

10. 安定性及び科学的性質

常温保存中にも微量が分解され、pHが移行し、有効塩素濃度が低下する。  
日光、特に紫外線の照射により急速に分解が促進される。  
有機物との接触により急速に分解が促進される。

可燃性：なし  
発火性：なし  
避けるべき材料（金属類の錆の発生及び染色布の色落ちは水道水程度）  
危険有害物な分解生物：なし

11. 物理的・化学的性質・対象濃度/pH：200ppm/pH6.7～7.0

状態	液状
色調	無色透明
臭気	軽い塩素臭
沸点	水とほぼ同じ
蒸気圧	水とほぼ同じ
比重	水とほぼ同じ
融点	水とほぼ同じ
溶解性	水に溶ける

12. 環境影響情報

有機物との接触により急速に分解が促進される。

13. 輸送上の注意

輸送上の特定の安全対策及び条件・・・・・・・・輸送に際しては、直射日光を避け容器の漏れない事を確かめ落下、転倒、損傷のないよう積み込む。

国連分類・・・・・・・・国連勧告の定義上危険物に該当しない。

## 14. 適用法令

食品衛生法、施行規則第3条	人の健康を損なうおそれのない添加物
食案基発	第0825001号
薬事法	該当しない
毒物及び劇物取締法	毒劇物に該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない
船舶による危険物運送基準等を定める告示	該当なし
港則法	該当なし
航空法	該当なし
道路法	該当なし
JR貨物営業規則	該当なし

## 15. 化審法

化審法の第一種特定化学物質、第二種特定化学物質及び第一種監視化学物質、第二種監視化学物質の規定には該当しません。

※上記に当てはまる場合は厚生労働大臣、経済産業大臣、環境大臣に届け出が必要。

## 16. その他の情報

### 引用文献

- ①厚生労働省医薬食品局 食品安全部基準審査課 食品添加物追加書類
- ②社内試験データ
- ③「活性酸素と疾患」H.Sies 著(学会出版センター、1987年)
- ④「浄水の技術」丹保賢仁・小笠原鉦一共著(技報堂出版、1985年)
- ⑤「新教養無機化学」佐々木行美・高木進・木村幹・杉下龍一郎・橋谷卓成著(朝倉書店、1986年)
- ⑥「新微生物入門」J.F.ウイルキンソン著(培風館、1989年)
- ⑦「分子・細胞生物学入門」遠山益編著(HBJ出版局、1988年)
- ⑧「有機化学(上)」J.McMurry 著(東京化学同人、1987年)
- ⑨「次亜塩素酸を基盤とする洗浄と殺菌—ここがポイント—」浦野博水  
(国際食品工業展 2005 アカデミックプラザ講演会、2005年)
- ⑩“Mechanism of the bactericidal action of myeloperoxidase: Increase the permeability of the Escherichia coli cell envelope” in “Infection and Immunity,” Pages 31,11-16 by H. J. & M.N. Hamers (1981)
- ⑪C. Nebel (1981)Ozone treatment of potable water—part 1.Public Works, 112(6), 86—90
- ⑫「食品安全セミナー2. 食品添加物」石綿肇、西島基弘、細貝祐太郎著(2001年)  
(順不同)